

報告事項（結果）

1-(1) 令和2・3年度恵庭市社会教育委員名簿

【特に意見なし】 10名

4-(2) 『令和元年度 社会教育事業報告』

【質問・意見等】

F委員

（意見） 事業の実際の取り組みについて、糺したい点もあったが、新型コロナウイルス感染が収束していない段階では、やむを得ないので同意する。

【特に意見なし】 9名

4-(3) 『令和元年度 恵庭市社会教育施設利用状況』

【質問・意見等】

D委員

（質問） コロナの影響により図書館が閉館となり、貸出等ができなかったのは痛手。また、郷土資料館の事業について、多くの子ども達が興味をもって親子で参加し、恵庭が大好きとなることを期待したい。また、青少年宿泊研修施設について、使用した人の感想などを聞き、市内で活動する人がより使いやすい施設となることを期待したい。

I委員

（質問） P.16市民会館利用状況について、大ホールが中ホールより件数・人員ともに低い理由は何か。

市教委（回答）

中ホールは大ホールと比較し使用料が低額であり、多目的な利用が見込まれます。一方、大ホールは中ホールと比較し使用料が高額であり、使用用途も限られることから利用件数や人員等が中ホールと比べ低いものと推測されます。

（意見） P.16市民会館利用状況(大ホール、中ホール)について、分類別利用状況(円グラフ)により、具体的な内容がわかるようにして欲しい。(例) P.29夢創館利用状況

市教委（回答）

作成し掲載いたします。

【特に意見なし】 8名

審議事項（結果）

※議決は、会議に出席した委員等の過半数の同意をもって行い、可否同数のときは、議長の決するところによる。

2-(1) 社会教育委員における正副委員長選出（案）について

可決

【賛成】 10名

【反対】 0名

2-(2) 社会教育関係機関への委員選出（案）について

可決

【賛成】 10名

【反対】 0名

4-(1) 『令和2年度 恵庭市の社会教育』

可決

【賛成】 10名

【反対】 0名

【質問・意見等】

D委員

（意見） 予定通りの開催とできない事業もあるかもしれないが、開催方法含め柔軟に対応していただきたい。

G委員

（意見） P1 推進目標④とP2 推進目標⑤が同じ内容となっている。別の目標があればお知らせ願いたい。

市教委（回答）

重複は誤りのため、P2 推進目標⑤を削除させていただきます。ご指摘ありがとうございます。

情報提供事項（結果）

3-(1) 社会教育法と社会教育委員の位置付け

【特に意見なし】 10名

3-(2) 社会教育委員の活動

【質問・意見等】

A委員

（意見） 研修は回数よりも質を重視した方がよい。

B委員

（意見） コロナ禍により十分な活動ができないことも考えられるが、このようなときだからこそ工夫してできることをやれるよう心掛けたい。

D委員

（意見） 可能な限り自主研修会を実施したい。

【特に意見なし】 7名

3-(3) 社会教育委員への期待

【質問・意見等】

D委員

（意見） 委員同士で情報共有すると共に、行政とも協力し恵庭市の社会教育を推進したい。

【特に意見なし】 9名

3-(4) 『第4期恵庭市生涯学習基本計画』の推進

【質問・意見等】

D委員

（意見） 事業評価の方法について毎年悩むが、次へ繋がる評価としたい。

F委員

（意見） 生涯学習の理念やその具体例について学ぶ機会があると良い。

【特に意見なし】 8名

3-(5) 『第5期恵庭市生涯学習基本計画』の策定

【質問・意見等】

D委員

（意見） 先を見通すことが難しい現状であり、5年間の計画を策定することは困難が予想されるが、良い計画となるよう貢献したい。

E委員

（意見） 「第5期恵庭市生涯学習基本計画」の策定について、進捗情報を知りたい。

市教委（回答）

令和元年度に開催された社会教育委員・生涯学習推進協議会委員合同自主研修会において意見交換された内容を反映し、令和2年度第1回生涯学習推進協議会（7月開催予定）において協議する予定です。

I委員

（意見1） 「読書活動の推進」に"恵庭書店まつり"のような項目を入れ、恵庭市内の書店と共に行う共催事業を計画に盛り込んでどうか。

市教委（回答）

生涯学習基本計画は「市民が充実した人生を送るために重要となる、生涯にわたる学習活動の促進や学習環境の整備」を総合的・計画的・体系的に進めていくことを目的とした計画です。読書活動の推進にあたり読書環境の整備は必要となりますが、基本計画は「基本的な考え方と方向性」を示すものであることから、未決定の個別事業を掲載することは難しいものと考えます。

（意見2） 「ふるさと教育の推進」に関し、カリンバ遺跡周辺への郷土資料館移転新設計画が延期されている。同遺跡の社会的・教育的・文化的価値を示すため、今後の活用計画(展望)について、計画に盛り込んでどうか。

市教委（回答）

各個別施設等における将来的な展望については、各施設の個別計画において謳われており、カリンバ遺跡の将来的な視点については史跡カリンバ遺跡整備基本計画に掲載されています。生涯学習基本計画においては、豊かな学びや地域との活気溢れるコミュニティづくりの推進を基本理念に策定していくものであることから、当遺跡の多様価値を示すことを目的とした掲載については各個別計画の中で検討されていくべきものと考えます。

【特に意見なし】 7名

5-(1) 令和2年度会議及び研修会等**【質問・意見等】****D委員**

（意見1） 人が集まるのは難しいかもしれないが、可能な限り開催して欲しい。

【特に意見なし】 9名

意見交換事項（結果）

6-(1) 結城委員より「令和２年度社会教育委員自主研修会の在り方について」

【質問・意見等】

D委員

（意見） 昨年は生涯学習推進協議会委員と合同で開催したが、改めて自主研修会の意義を考えたい。

E委員

（意見） 自主研修会の目的は、スキルアップと地域全体に対して社会教育の浸透度を確認するものだと考えている。しかし、必要であれば研修会を見直し新しいスタイルを考えることについては賛成。

F委員

（意見） 議論なので皆さんの意見等を伺って考えたい。

J委員

（意見） 可能であれば3密を避け実施したいが、インターネットを介しオンラインで行うことも考慮したい。

【特に意見なし】 6名

6-(2) 井上委員より「令和２年度社会教育委員自主研修会の遠隔実施について」

【質問・意見等】

A委員

（意見） 私自身もZoomを利用することができる。活用可能であれば、体験から始めたい。

D委員

（意見） 自主研修会に限らず、社会教育委員の会議においてもZoomなどを活用しオンラインで開催が可能か開催方法を検討していただきたい。

E委員

（意見） 研修会の遠隔実施はメリットもあると思うが、機材等の準備に問題ありと考える。

F委員

（意見） 遠隔実施の具体的方法について、説明を願いたい。

G委員

（意見） 遠隔実施をするのもよいが、新型コロナウイルス感染拡大も落ち着きを見せていることから、一度顔合わせしたい（図書館協議会は開催済み）。

H委員

（意見） デジタルデバイドへの配慮が必要。

※デジタルデバイドとは、情報通信技術を利用して恩恵を受ける者と、利用できずに恩恵を受けられない者との間に生じる知識、機会などの格差のこと。

J委員

（意見） 賛同する。

市教委（情報提供）

社会教育委員自主研修会については、社会教育委員が主体となり開催をしていただいております。開催手法や内容につきましては、委員長を中心として検討していただくこととなります。尚、開催手法を遠隔実施とする場合につきましても、可能な範囲で環境面や技術的なサポートを社会教育課から行いたいと考えておりますので、ご相談ください。

【オンラインによる遠隔実施とする場合の必要な設備や環境】

- ①スマートフォンまたはタブレット媒体を使用する場合
- ・インターネット通信環境

- ・コミュニケーションツール（Zoom（ズーム）等）
- ②パソコンを使用する場合
 - ・ウェブカメラ（パソコンにカメラ機能が内蔵されていない場合）
 - ・マイク（パソコンまたはウェブカメラにマイク機能が内蔵されていない場合）
 - ・インターネット通信環境
 - ・コミュニケーションツール（Zoom（ズーム）等）

【特に意見なし】 3名

6-(3) 加藤委員より「恵庭市内の書店文化活性化対策について」

【質問・意見等】

A委員

（意見）市広報誌へ特集として掲載してはどうか。

B委員

（意見）「読書のまち恵庭」として書店の存続は課題の一つかもしれないが、書店に限らずどの業種においても時代の流れに乗った視点で対策が必要。

C委員

（意見）心配の向きは理解するが、恵庭市はまだ恵まれている方である。人口7万人に専門書店2店舗が健在であり、行政が直接支援するほどの緊急性は感じられない。書店でお金を出して本を買い、所有する喜びを消費者へ知って欲しいが、行政がそこまで関与することは難しく、自助努力を見守るべき。

D委員

（意見）図書館が充実している分、書店は厳しいかもしれないが、借りるのではなく手元に置きたい本もある。それを手に取って選べる環境は大切だと思う。

E委員

（意見）議論に賛成。

G委員

（意見）直近2年間で恵み野・島松地区の書店が2店舗無くなり寂しい。駅の近くに大きな書店があれば街が活気づく。今、営業している書店へ行政から支援できることがあるのなら実施していくべき。

H委員

（意見）趣旨には賛同するが、社会教育委員の会議にて取り扱うべき議題とするには工夫が必要。「図書文化の現状と課題」と題し、図書館の関係者を交え自主研修会を開催し情報交換してはどうか。

I委員

（意見）「情報提供事項3-(5)意見1」参照。

市教委（回答）

図書館の本や雑誌は、主に市内書店から購入するよう指定管理者へ配慮を求めています。また、作家講演会の開催時にあわせて、市内書店による講演作家に関する書籍販売を依頼しています。今後も引き続き市内書店からの購入などにおいて、協力していきたいと考えております。

また、今回いただきましたご意見につきましては、事業を所管している読書推進課へ情報共有させていただき、検討するようお伝えいたします。

【特に意見なし】 2名

6-(3) 加藤委員より「カリンバ遺跡における文化、観光面視点の活用について」

【質問・意見等】

B委員

（意見）遺跡の価値については理解しているつもりだが、観光面での活用には箱物の課題が多く、工夫が必要。

C委員

(意見) 遺跡は文化財、教育資源である。ご提言のように活用するためには、現状インフラが不足しており、カリンバ博物館などのインフラ設備が無ければ客を呼び込むのは難しい。そのためには、それ以前に市民の関心を高める必要がある。

D委員

(意見) 子ども達はカリンバ遺跡について多少学んでいるが、親は知らない人も多い。遺跡が街にあることを誇りに思えるよう、親子で学べる機会があれば良い。

E委員

(意見) 「一般社団法人 恵庭観光協会」さんからの意見を聞きたい。

F委員

(意見) 昨年度、郷土資料館の研修会において、北海道運輸局の滞在型コンテンツ造成事業に際し、カリンバ遺跡の観光コンテンツ化に向けた話し合いと、インバウンドの方に向けた英語の説明などを実施。2020年度商品観光するための活動は始まったように思われたが、コロナ感染拡大に伴い、尻すばみ状態となっている可能性がある。

H委員

(意見) 保存及び活用のための環境整備について現状を共有したい。

I委員

(意見) 「情報提供事項3-(5)意見2」参照。

市教委(回答)

平成27年度に史跡カリンバ遺跡整備基本計画が策定され、史跡の隣接地に遺跡の内容を紹介するガイダンス施設等の建設や史跡公園整備(園路整備や案内看板設置等)の計画があります。これが実現すれば史跡や重要文化財の活用が図れ、また観光客の増加にもつながるものと思われます。また、現在、史跡の水文環境調査を続けており、ガイダンス施設等の基本設計は令和4年度の計画です。

今回いただきましたご意見につきましては、事業を所管している郷土資料館へ情報共有させていただき、引き続き文化・観光面活用の視点をもって進めるようお伝えいたします。

【特に意見なし】 3名

その他

【質問・意見等】

D委員

(意見) 社会教育委員として役割を果たすことができるよう、委員同士の交流や学習を大切に活動していきたい。また、今はできないことも多いが、できない理由を挙げるのではなく、できる方法を考え取り組みたい。

E委員

(意見) 新型コロナウイルスのため大変な状況が続いている。委員としての活動も自粛中。今後の活動に関わる情報提供を願いたい。

市教委(回答)

社会教育委員活動としての今後の活動予定(会議、研修会等)につきましては、6月25日会議資料の「(別紙3-3) 情報提供事項」のとおりです。尚、活動時につきましては、北海道より公表しております「新型コロナウイルス感染症対策に関する基本方針」を参照願います。

G委員

(意見) 社会教育事業報告を読み、知らない事業が多かった。図書館に関するものは専用のHPがあり(FBもある)いつもチェックできるが、郷土資料館の事業などは市HPを見てもわかりにくく改善して欲しい。また、市HPは全体的にわかりにくい。

市教委（回答）

貴重なご意見と受け止め、見やすくわかりやすいホームページを目指し、都度改善していきたいと考えています。

【特に意見なし】 6名